

各 位

会 社 名 東日本ハウス株式会社
 代表者の役職名 取締役社長 成 田 和 幸
 (J A S D A Q コード番号 1 8 7 3)
 問い合わせ先 常務取締役 小 國 健 司
 T E L (0 1 9) 6 2 4 - 3 2 6 1

営業外損失、特別損失の発生及び
 平成16年10月期 通期(連結・単独)業績予想の修正に関するお知らせ

平成16年9月10日付当社「第3四半期業績の概況(連結・個別)」にて発表いたしました平成16年10月期(平成15年11月1日~平成16年10月31日)の業績予想について修正するとともに、営業外損失、特別損失の主な内容について、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 営業外損失、特別損失の主な内容について

[営業外損失]

当社の持分法適用関連会社である東日本沢内総合開発株式会社の財政状態が悪化したため、当社単独決算において、同社貸付金に対する貸倒引当金の計上100百万円の営業外損失が発生する見通しとなりました。

[特別損失]

当社の連結子会社である銀河高原ビール株式会社の財政状態が悪化したため、当社単独決算において、同社貸付金に対する貸倒引当金の計上350百万円の特別損失が発生する見通しとなりました。

2. 通期連結業績予想の修正(平成15年11月1日~平成16年10月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	91,800	2,000	1,000
今回修正予想(B)	88,863	785	26
増減額(B-A)	2,937	1,215	974
増 減 率	3.2%	60.8%	97.4%
(ご参考) 前期実績(平成15年10月期)	92,844	1,605	2,398

修正理由

売上高については、単独の完成工事高が前回見込みから減少したことと、子会社の売上高が前回見込みから減少したことにより、前回予想を下回り88,863百万円となる見込みです。

経常利益については、売上高が減少したことと、子会社の業績が大幅に悪化したことにより、前回予想を下回り785百万円となる見込みです。

当期純利益については、前述したように子会社の経常利益が大幅に悪化したことにより、前回予想を下回り26百万円となる見込みです。

3. 通期単独業績予想の修正（平成15年11月1日～平成16年10月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	75,400	830	480
今回修正予想（B）	73,562	535	497
増減額（B - A）	1,838	295	977
増減率	2.4%	35.5%	-%
（ご参考） 前期実績（平成15年10月期）	77,703	2,858	454

修正理由：

売上高については、完成工事高が前回見込みから減少したことにより、前回予想を下回り73,562百万円となる見込みです。

経常利益については、売上高が減少したことと、子会社の業績が大幅に悪化したことにより子会社への貸倒引当金繰入額を見込んだことにより、前回予想を下回り535百万円となる見込みです。

当期純損益については、前述したように経常利益が悪化したことと、特別損失で子会社への貸倒引当金繰入額を見込んだことにより、前回予想を下回り当期純損失が497百万円となる見込みです。

御参考（銀河高原ビール株の状況）

当社子会社の銀河高原ビール株は平成16年9月期の業績が、当期純損失1,746百万円に達し大幅に計画を下回ったことによりグループ全体の業績にも大きな影響を及ぼす結果となりました。

銀河高原ビール株は外部コンサルティングの支援を受け「中期経営計画」の見直しをするとともに、経営陣の刷新と組織改革により再建を目指します。

なお、新任予定の代表取締役社長及び役員は別紙の通りです。

以上

別紙

1. 新任役員

代表取締役社長	三島洋明	現	株式会社みずほ銀行
取締役	八木裕幸	現	生産本部長兼那須工場支配人
取締役	横川一雄	現	営業企画室長
監査役	林幹夫	現	東日本ハウス株式会社

2. 就任予定日 平成16年12月24日

なお、現代表取締役社長 中村功ほか、現役員は平成16年12月24日(予定)をもちまして、全員退任する予定です。